

平成25年10月3日

平成25年9月度情報発信 No.53

働材料・環境研究所 代表取締役 長野博夫

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

今年の会計年度も早や半年が過ぎてしまいました。暑かったせいもあって、半年過ぎたわりには、何をこの半年やったのかなと反省させられます。

健康でやって来られているのが一番ありがたいことかもしれません。この酷暑を何とか乗り切れたことが自信に繋がります。

今年、初めて4月より市立神戸高専の材料工学の授業を受け持っています。対象は3年生40人ですが、4月から半年で、中間考査、前期定期試験があり、問題の作成、模範解答、成績表の作成などに追われました。10月1日からはもう10年以上続いている大阪市立大学工学部での材料基礎学の授業が半年間の予定で始まります。二つの授業を同時期にこなすことは、本当に大変なことを身にしてみています。

今年の8月の中旬から11日間、中国の三つの省と上海に招待講演、或いは当社の塗料の技術説明などの為に行ってきました。暑い最中であつたので、後半は疲れ、最後の予定地の上海では気がゆるんだせいか、夏風邪を引いてしまいました。風邪は帰国して直ぐに治りましたが、無事に帰ってくる事が出来ほつとしています。

健康を考えて、時間の許す限り、毎日朝食後事務所の横を流れる住吉川（二級河川）を散歩しています。昨年、一昨年と鮎の遡上を促すために神戸市が魚道をつくりました。最近、川の底をみると、魚道を作成したお陰か、10cmくらいの鮎が縦列して遡上するのをみつけました。環境が整備されて大都市の中を流れる川にも鮎が戻るとは、話には聞いていましたが、実際無数の小鮎をみると、感激です。

10月から来年の3月末にかけて例年行ってきましたように、1年に1回はクライアント各社殿を訪問したいと考えています。各社のご要望をお聞きして、製品の製造、使用或いは新製品開発の問題などのご相談に応ずるとか、当方からのプレゼンテーションを行うことを考えています。別途ご要望をお聞きしますの
でよろしくお願い致します。

(1) 特記事項

① (公社)腐食防食学会関西支部主催 第6回腐食防食セミナー「腐食の基本と事例解析」(大阪大学、8/1)

内容は下記の通り(添付写真1～3、授業風景)。

- 1) 腐食の基本(長野担当)
 - 2) 炭素鋼の腐食原因調査手順と腐食事例
 - 3) ステンレス鋼の海水腐食の原因調査と腐食事例
 - 4) 各種金属の腐食原因調査手順と腐食事例
 - 5) 銅合金とチタンの海水腐食の原因調査手順と腐食事例
 - 6) 化学工業における腐食原因調査手順と腐食事例
 - 7) 高温腐食の腐食原因調査手順と腐食事例
- ② 日中会話授業(神戸、8/2)
- ③ 中国に出張した。出張先は河南、蘇州、上海など(8/16～8/26)
- 1) 中国会社の腐食研究室立ち上げ式に中国の数名の教授とともに出席。
北京清華大学教授、北京科技大学教授、蘭州理工教授、せつ江大学教授、上海材料研究所教授、日本国際石油開発帝石(株)シニアコーディネーター、及び小生が招待を受けて出席。
 - 2) 中国石油化学上海訪問(世界第3位の石油精製会社 SINOPEC)
当社の防錆塗料 PL-F 及び PL-Galva の技術説明(上海)
 - 3) NACE Shanghai 事務所に北京科技大学 呉教授を訪問し、PL-F 及び PL-Galva の技術説明(上海)
- ④ 神戸市立高専での講義: Fe-C 状態図(神戸、9/11)
- ⑤ 日中会話授業(神戸、9/13)
- ⑥ 神戸市立高専での講義: 加工熱処理及び表面硬化法(神戸、9/17)
- ⑦ 日中会話授業(神戸、9/20)
- ⑧ クライアント W 社における当社防錆塗料 PL-Galva 接着性向上実験。今回は塗料の自然乾燥に代えて、200℃焼付け処理を行った(大東市、9/25)
- ⑨ (公社)大阪技術振興協会の中間監査に監事として出席(大阪、9/26)

以上